つばさ TSUBASA

令和３年度 生涯学習課だより

第358号(２月)

放課後子ども教室活動報告

その道のプロに教わるスポーツ実践！

豊浦町放課後子ども教室では、外部講師をお招きしたプログラムを取り入れています。今回は、スポーツに特化した専門家の皆さんにお越しいただき、思いっきり身体を動かしました。

ボクシング 講師　橋場　竜也さん(岩見沢市)

ボクシングクラブを運営し、自身も競技歴のある橋場竜也さん。基本的な動きを学んだあとは、グローブをはめてスパーリング！ジャブ・ストレートとパンチの練習です。橋場さんのお腹につけた風船を狙う１対１の試合も行い、ひらりひらりと、パンチをかわす姿をみんなで息をのんで見守りました。見事ストレートが決まり、風船を割った子も！普段の生活では他の子にパンチしてはいけないよと、ボクシングを楽しく行うためのマナーも教わりました。

車いすバスケ 講師　齊藤　雄大さん他(札幌市)

今年パラリンピックで日本が初の銀メダルを受賞した車いすバスケットボール。放課後子ども教室では2018年から毎年、齊藤雄大さんが代表を務めるHokkaidoAdaptiveSportsの皆さんにお越しいただき、車いすバスケプログラムを行っています。齊藤さんと同じく４年連続で来てくださっている三元大輔さんは、パリ五輪を目指し活躍中。また、今年のカヌー種目パラリンピアンの辰己博実選手も駆けつけ、子どもたちとともにプレイしてくださいました。講師の方々のおかげで、２～６年生はほぼ全員が車いすバスケ経験者。子どもたちは、慣れた様子で競技用の車いすを操ります。活動の最後には、この経験をぜひ友達や家族に伝えて、車いすバスケを広めてくださいとお話いただきました。本当に貴重な経験をさせていただいています。

サッカー 講師　菅野　敏範さん(豊浦町)

昨年、子どもたちから要望があった「サッカー」プログラム。講師として、TOYA.FCの菅野敏範さんにお越しいただきました。しっぽ取りやパス・ドリブルで体を温めたあとは、３チーム、３つのゴールで行う試合形式のゲームで盛り上がりました。初心者にとってサッカーの細かなルールは難しいものですが、シンプルにボールを蹴り、相手のゴールに入れることに集中できるこのゲームでは「どんな子もヒーローになれる」のだそうです。みんな夢中でボールを蹴り、汗だくで楽しんでいました。